



日恵野佳代
無党派・
日本共産党

昨年8月の竹谷町の
土砂災害について

問 県等から出された調査報告書は、土砂崩れの原因とした大量の水の発生源を不明としたが納得できない。公正な第三者検証委員会について、国等への設置要請や、市独自で設置する考えはないか。

答 現時点では、できる限りの調査をしたという認識であり、第三者検証委員会の設置等は考えていない。新たな事象が起きた時に、原因究明に努めていきたい。

快適なトイレの
充実について

問 市民会館と市民体育センター及び避難所となる小中学校のトイレの男女比率は。

答 小便器も含めたトイレの男女比率は、市



民会館で、男性用が女性用の約1・3倍、体育センターで約2・1倍、小中学校で約1・4倍である。

問 快適なトイレ整備に向け、公共施設等に女性用トイレを多めに設置する基準の導入や多様な利用者への配慮に対する市の考えは。

答 来年度、国が女性用トイレの行列改善に向けて、トイレの設置数の統一基準を策定する予定だと聞いている。この基準等を参考にし、社会的ニーズや多様な利用者への配慮等を踏まえながら、市民が安心して快適に利用できる公共施設のトイレの整備に心がけたい。



芦刈純奈
自民党市議団・
無所属の会

生きづらさを感じる
働く世代への支援

問 心の不調を抱える人の相談窓口や支援の状況、支援団体との連携を伺う。

答 精神疾患により生きづらさを感じている人の相談は、福祉課や福祉総合相談室、健康推進課、保健所等で行っている。支援団体との連携は、障害福祉サービスの利用者に対し、相談支援専門員や福祉事業所及び福祉課等と協力して支援している。

問 心の不調を抱える人が社会復帰・就労支援を受けられる制度は。

答 障害福祉サービスでは、就労継続支援や就労移行支援等、働く場の提供や知識や能力の向上のための訓練を行っている。若者サポートステーションでは、就職に悩んでいる15歳



から49歳までの人に対する支援を、ハローワークでは職場復帰支援を行っている。

問 市職員への研修や対応力向上の取組は。また、市民や企業への理解を広めるための啓発活動について伺う。

答 市職員に対しては、令和6年の障害者差別解消法の改正による、障害のある人に対する合理的配慮の提供と不当な差別的取扱いの禁止を周知し、関係団体等に対しても適切な対応をするよう周知している。市民や企業に対しては、毎年、広報に発達障害啓発週間に關する記事を掲載して理解の促進を図っている。



竹内滋泰
市政クラブ

民生委員の役割と
現状について

問 自治会からの推薦が減少する等、民生委員の適任者の確保が難しい状況にある。市の関わりや協力を伺う。

答 県が開催した「民生委員担い手確保事業の市町村職員向け研修」の先進的な取組事例を参考に、ヒントを見出し、有効な施策につなげていきたい。

問 市の要綱では、シルバー人材センター事業費等補助金は、人件費や管理運営費等の2分の1を補助金の基準額と定めているが、実際に交付された額は下回る。この差の解消を検討する考えはあるか。

答 要綱では、対象経費の2分の1を基準に

蒲郡市シルバー人材
センターのさらなる成長

問 市の要綱では、シルバー人材センター事業費等補助金は、人件費や管理運営費等の2分の1を補助金の基準額と定めているが、実際に交付された額は下回る。この差の解消を検討する考えはあるか。

答 要綱では、対象経費の2分の1を基準に



蒲郡市民病院

予算の範囲内で市長が定める額とすると規定されている。シルバー人材センターが財政的に厳しい状況は認識しており、2分の1の額となるよう努めていきたいと考えている。

問 患者に寄り添った医療やロボット手術等が確実に実施されるためのビジョンを伺う。

答 システムにて、より正確な手術や医師の教育効果も期待でき、持続可能な医療の土台作りが期待される。地域医療機関との適切な機能分化や医療連携体制の強化も進めていく。

市民病院における整形外科
体制の刷新と展望